※令和３年度以前入学生用

学校番号	1208

令和５年度　美術科

教科	美術	科目	クラフトデザイン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	本校作成のプリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な材料に触れ、ものづくりの技術・技法を年間を通して学びます。
・学習の到達度は、授業で取り組むワークシートや提出作品で評価します。
・実習科目のため前提として出席していること、授業中の取り組みを評価します。
・生活を豊かにするデザインを考え、工夫する楽しみを学びましょう。

２　学習の到達目標

美的創造性や機能性を主とする造形のデザインについて理解を深め、表現と鑑賞の能力を高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創作活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心をもち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構成を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察　ワークシート	観察　ワークシート アイデアスケッチ 提出作品	観察　提出作品	発言内容　ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	手の石膏型取り	・型取り ・着色 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a: 材料の特性を理解し、意欲的に取り組もうとしている。 b: 材料の特性や、仕上がりをイメージして構想を練っている。 c: 意図に応じて用具の特性を生かし、表現方法を工夫して取り組んでいる。 d: 他の生徒の作品のよさや工夫、作者の意図を感じ取り作品について理解を深める。	制作の様子 鑑賞活動及び発言内容 アイデアスケッチ ワークシート 提出作品
	シルクスクリーンでTシャツ作り	・刷り作業 ・アイデアスケッチ ・レイアウト ・相互鑑賞	○	○	○	○	a:シルクスクリーンに興味を持ち、テーマから主体的に主題を生成し、素材の特性を理解した上で意欲的に取り組もうとしている。 b:使用する用途にあったデザインを考えるとともに、モチーフや色彩、構成などを工夫し創造的な表現の構想を練ることができる。 c:シルクスクリーンの特性を生かし、自らのデザインに合った用具を使い分けて主題に合った表現をしている。 d:他の生徒の作品のよさや工夫、作者の意図を感じ取り作品について理解を深める。	

※令和３年度以前入学生用

2学期	レザークラフト	・皮の特性を知る ・アイデアスケッチ ・制作 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a: レザークラフトに興味を持ち、テーマから主体的に主題を生成し、素材の特性を理解した上で意欲的に取り組もうとしている。 b: 使用する用途にあったデザインを考えるとともに、形や構成などを工夫し創造的な表現の構想を練ることができる。 c: 革及び革の加工技術の特性を生かし、自らのデザインに合った用具を使い分けて主題に合った表現をしている。 d: 他の生徒の作品のよさや工夫、作者の意図を感じ取り作品について理解を深める。	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動及び発言内容 アイデアスケッチ ワークシート 提出作品
	BOXアート	・異素材を組み合わせる ・アイデアスケッチ ・相互鑑賞	○	○	○	○	a:BOXアートという題材に興味を持ち、平面と立体を組み合わせる面白さから想像を練り、主題を追求している。 b:BOXアートという題材を基に感性や想像力を働かせて、異素材を組み合わせることによって色彩、構成などを工夫し創造的な表現の構想を練ることができる。 ｃ:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求し表現している。 d:他の生徒の作品のよさや工夫、作者の意図を感じ取り作品について理解を深める。	

※令和３年度以前入学生用

３学期	家具のデザイン	・ワークシート ・アイデアスケッチ ・相互鑑賞	○	○	○	○	a:工業デザインの目的、機能などを考えて表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成し、造形要素の働きを考え、制作の見通しを持って構想を練り、表現している。 b:工業デザインの目的や条件、機能や用途と、造形的な美しさとの調和を考え、主題を生成し、表現形式の特性と、形や色彩、質感などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練っている。 c:目的や意図に基づいて、技法や材料などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を吟味し、制作の見通しを持って、主題を追求し表現している。 d:作品から作者の心情や意図と表現の工夫、生活や社会を心豊かにする美術の働きなどを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考え方など持ち、理解を深めている。	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動及び発言内容 アイデアスケッチ ワークシート 提出作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。